

(基本目標6) 人づくり、参加・協働

1. 環境・SDGs 教育

SDGs とは、“Sustainable Development Goals” の略称で、「持続可能な開発目標」と翻訳されています。2015 年 9 月の国連サミットで採択され、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための 2030 年までの国際目標です。17 のゴールと 169 のターゲットから構成されており、環境・社会・経済の 3 つの側面を総合的に解決する考え方が強調されています。



※ゴールごとにロゴマークが作られている。

1-1 出前授業・環境講演会など

市では地域や小学校等を対象に出前授業や環境講演会を開催しております。令和3年度は、7回実施し、688名が参加しました。

令和3年度 環境授業・環境講演会実施内容

No.	実施日	対象者	参加人数	テーマ
1	5月11日	越ヶ谷小学校5年生	133	「SDGsについて」
2	5月12日	越ヶ谷小学校6年生	130	「SDGsについて」
3	5月21日	桜井公民館 桜井中学校参加者	25	「SDGsについて」
4	6月5日	こしがや市民活動連合会会員	24	「SDGsについて」
5	6月14日	獨協大学法学部3学科2~4年生	330	「SDGsについて」
6	9月18日	がもう楽生塾	15	「SDGsについて」
7	11月25日	こばと館連絡調整会議	31	「SDGsについて」

※上記の他、各小学校で実施している生物多様性子ども調査の授業に、市の職員が参加し、環境サポーターと共に学習支援を行っています。

○SDGs ってなに？ 未来のために今わたしたしができること

令和3年3月23日から7月25日の期間で越谷市科学技術体験センター開館20周年記念特別展として、SDGs展が行われました。「SDGsを知ることが問題解決に向けた第一歩」と題して、各ゴールに対する世界中で起きている現状や、ゴールを達成するための具体的な行動などをパネルにして展示しました。

また、令和3年10月に行われたエコウィークでも、イオンレイクタウン mori の花の広場においてパネルの展示を行いました。



SDGs 展パンフレット



エコウィークでのSDGsパネル展示の様子

1-2 越谷生物多様性子ども調査

市内の小学校のビオトープにおいて、平成24年度から始まった越谷生物多様性子ども調査を行っています。越谷市独自の指標生物調査で、子どもたちが学校やビオトープ周辺のトンボの生息状況を調べ、活動を通して越谷市の環境の現状について知り、調査結果を元に生きものにとってやさしいまちづくりについて考えます。令和3年度の調査では越谷市内の小学校で、トンボの成虫が27種、ヤゴが14種確認されました。



1-3 児童館ヒマワリの環境学習事業

児童館ヒマワリのテーマ「生物と環境」には、子どもたちが人と自然の調和や動植物を慈しみ生命を尊重する心を持ち、科学する心を培っていくという願いが込められています。また、こどもエコクラブ活動の推進により、地球環境を保護するなど、環境形成者としての実践力を育成することをねらいとしています。令和3年度末現在、5クラブ714人が登録を行っています。

○主な実施事業

①科学にひたるひととき in越谷 2021

科学に興味をもつ子どもが、大人を含めて楽しめるような本格的な科学教室を開催し、科学に対する興味関心をさらに高めることをねらいとしています。

テーマ	開催日
〈30倍の世界〉－ライトスコープでみてみよう－	7月24日(土)

②わくわく科学教室

学校では経験できない生物の観察やいろいろな科学実験、自然を生かしたものづくり等を行いながら、自然や環境も含めた様々なことを学び、科学への興味・関心を高めることをねらいとしています。

回	月	日	曜	内 容
①	4月	18日	日	植物で染物に挑戦Ⅰ(春)
②		25日	日	植物インテリア
③	6月	27日	日	カブトムシの飼い方教室
④	7月	4日	日	昆虫トラップ作戦!
⑤		11日	日	紫外線ビーズストラップとお花のパーバリウムづくり
⑥		17日	土	金メダル・銀メダル・銅メダルを作ろう
⑦		18日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅰ(2回講座) ※定員10名
⑧		25日	日	いい声で鳴かそう!スズムシ教室
⑨		28日	水	世界のカブトムシ
⑩	8月	22日	日	カブトムシ標本づくりに挑戦Ⅱ(2回講座) ※定員10名
⑪		29日	日	化石のレプリカをつくろう
⑫	9月	12日	日	いろいろなスライムを作ろう!
⑬	10月	10日	日	科学の不思議～『シュワシュワ』バスボム作り
⑭		24日	日	クリスタルソープで宝石せっけんをつくろう!
⑮	11月	23日	祝	粉雪の降るスノードームをつくろう
⑯		28日	日	秋の紅葉の和紙作り!
⑰	12月	4日	土	すてきなクリスマスキャンドルをつくろう ※親子12組
⑱		12日	日	キラキラリースでクリスマスをむかえよう

③ヒマワリこどもエコクラブ

米作りを通し、健康・水・生物などの関わりから環境について考え、一人ひとりの環境保全に対する意識を高めることをねらいとしています。また、異なる学校のクラブ員相互の交流を図っています。

(6回実施)

2. 環境・SDGs 活動

2-1 こしがや環境サポーター

市民や団体、教育機関等における環境配慮活動等への協力、支援を進めながら地域における自然環境保全、普及啓発活動を幅広く推進していくため、越谷市では、登録制による「こしがや環境サポーター」制度を平成 27 年度から開始しました。サポーターとして登録された方は、地域や学校などの求めに応じ、環境イベントへの協力や、学校の環境学習への支援を行っています。

○令和 3 年度末現在登録数：市民サポーター 38 名、学生サポーター 0 名、企業サポーター 8 社

令和 3 年度活動内容

活動名称	内容	実施日	参加者
フジバカマ保護活動	フジバカマ自生地にて除草作業	7月6日	4名
オオオナモミ除去活動	葛西用水でのオオオナモミ除去と清掃、キタミソウの観察	10月9日	11名
コシガヤホシクサ栽培への協力	種子採取	11月8日	6名
北越谷第五公園ビオトープ管理	ゴミ拾い、枯葉の回収	1月27日	8名
環境サポーター交流会※	年度事業報告と次年度事業計画説明	2月25日	46名
キタミソウ観察会 クリーン作戦	葛西用水での清掃とキタミソウの観察	2月26日	8名
越谷生物多様性子ども調査支援	トンボ調査学習支援など	通年	延べ63名



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面による実施



ビオトープ管理活動



キタミソウ保護活動

2-2 協働事業

市では、市民団体との協働による活動も推進しています。令和 3 年度は NPO 法人越谷ふるさとプロジェクトと共催で事業を実施しました。

(ア) 川をめぐる子ども体験バスツアー

平成 28 年から越谷市内を流れる川とつながる地域を訪問し、水と自然環境について体験的に学習することを目的に、市内の小学生を対象に「川をめぐる子ども体験バスツアー」を実施しています。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止になりました。

(イ) 親子ふれあい自然体験教室

令和3年度より「自然物を使った工作をすることで、自然の楽しみ方や自然との接し方を深める」、「親子で一緒に作業をすることで、好ましい関係を構築する」、「体験活動を通して、感受性、想像力や表現力を高める」ことを目的に親子ふれあい自然体験教室を実施しています。

○親子ふれあい自然体験教室～クリスマスクラフトを作ろう～

日時：令和3年12月5日(日) 午後1時30分～午後3時

会場：水辺のまちづくり館大会議室

内容：松ぼっくりのクリスマスツリー、木の枝のミニサンタクロース（北欧の妖精トントウ）、ヨシ（アシ）のヒンメリを作る

参加者：市内在住の小学生以上の親子9組（計19名）



当日の様子



作品

○親子ふれあい自然体験教室～ヨシでなんでも作っちゃおう～

日程：令和4年3月13日(日) 午後1時30分～午後3時

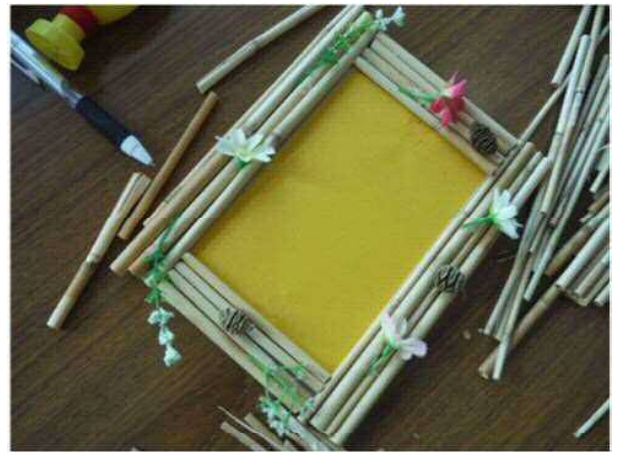
会場：水辺のまちづくり館大会議室

内容：ヨシに関するクイズ、タペストリー、コースター、フォトフレーム、モビールの作成

参加者：市内在住の小学生以上の親子4組（計8名）



当日の様子



作品

2-3 越谷市環境推進市民会議

(ア) 組織の概要

越谷市環境推進市民会議は、地球環境の復元能力を超えた人間活動により、私達人間を含めた生物の生存が脅かされている状況を認識し、自然豊かな恵のある地球環境を維持・改善して次世代に受け継いでいくため、市民参加により策定された越谷市環境管理計画に基づいて、市民・事業者の各主体が行う環境保全活動の事業を支援していくことを目的として、平成13年に設立された市民団体です。

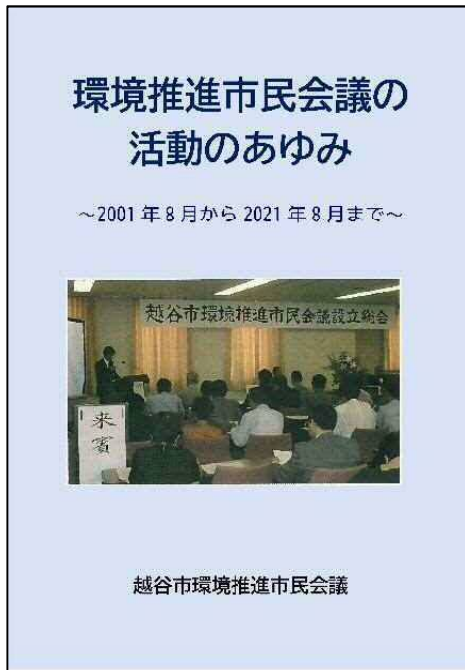
総務広報委員会、自然環境委員会、普及事業委員会の3つの委員会を中心に、越谷市環境大会、勉強会などの企画、エコニュースの編集発行、こしがや緑のオアシスの調査・推薦、市内の自然環境調査、エコ事業所宣言・環境ファミリー宣言・緑のカーテンの普及啓発活動、会員の募集など、市民や事業者の環境保全活動を支援する活動を実施してきました。

しかし、事業の基となる越谷市環境管理計画が令和3年4月に全面改定され、実施してきた事業が令和2年度をもって一旦終了となったこと、これまでの活動により一定の成果があったこと、今後の組織の存続が難しい状況となっていること等により、令和3年9月に解散となりました。

(イ) 活動実績

平成13年度の設立以降、様々な活動が実施されました。これらの活動により、市民や事業者、行政との協働による環境保全活動の推進が図られました。

実施年度	名称	内容	回数等
H14~H15	越谷市エコプラン推進大会	環境配慮活動事例発表、表彰、環境講演会など	2回開催
H15~R2	越谷市環境大会	環境配慮活動事例発表、越谷環境賞の表彰、環境講演会・映画会、環境管理計画の進行状況報告など	17回開催
H13~R2	エコニュースの発行	市民会議の活動、環境保全活動に関する情報等を掲載し、会員及び市内学校・図書館・児童館などに配布	47号発行
H25~R3	ECO勉強会	環境保全に関する様々なテーマについての観察会や講演会、報告会など	33回開催(うち3回中止)
H15~H23	環境講演会&エココンサート	生活と環境とのかかわりを、身近な話題や音楽等を通して考える催し	9回開催
H15~R1	エコ・クッキング	食材やエネルギーを考慮し、環境にやさしい調理法を学習する	32回開催
H13~R2	ECO こしがや環境ファミリー宣言	家庭で取り組む環境配慮行動を自主的に選定・登録し、宣言をする	6,456件登録
H15~R2	ECO こしがや推進事業所宣言	事業活動における環境配慮の取り組みを自主的に宣言して登録し、実践する	109件登録
H25~R2	こしがや緑のオアシス2020プロジェクト	緑のカーテン、緑の庭・生垣、屋敷林、緑の畔などの創造・維持管理をしていく活動を認定	331件登録
H24~R3	こしがやエコスポット	市内の自然環境として残したい場所と市内で見られる貴重な生き物を選定し、まとめたもの	
毎年	環境管理計画の策定への参加・普及啓発等	計画策定への参加、計画の内容や進捗状況の普及啓発など	



主なできごと		越谷市環境推進市民会議	越谷市
2001	H13	8/25 越谷市環境推進市民会議設立 (設立総会の開催～設置意欲及び会務部の 稼働、初代会員に越谷市長を推挙)	越谷市環境管理計画の全面改定
2002	H14	1/1 越谷エコ・ニュース創刊号発行 2/1 ECOこしがや環境ファミリー宣言発表開始 6/30 第1回越谷市エコプラン推進大会の開催 ● ECOこしがや推進事業所設置準備開始	
2003	H15	2/27 ECOこしがや環境ファミリー宣言 9/20 環境推進委員会EJCJンサート開催	
2004	H16	6/27 臨時総会にて会長に鈴木祐乃氏選出	
2005	H17	11/28 第1回越谷市環境大会の開催 3/22 「さいたま緑博覧・県民大賞」受賞	
2006	H18		越谷市環境管理計画の一部改定
2008	H20	6/14 臨時総会にて会長に斎藤光明氏選出	
2011	H23		越谷市地域活性化計画(第1期)策定 (EJCJN事務局)策定 越谷市環境管理計画の全面改定
2012	H24		
2013	H25	● EJCJN事務局設置開始 ● 越谷市エコ・ニュースプロジェクト結成 (2020年度まで)	
2014	H26	3/12 第1回 ECO勉強会開催	
2016	H28		越谷市環境管理計画の一部改定
2018	H30		越谷市環境管理計画の全面改定 ガイドライン策定
2021	R 3	6月 臨時総会(書面)にて年度内解散の議決 8月 越谷市環境推進市民会議の解散	越谷市環境管理計画の全面改定

目次	
越谷市エコプラン推進大会と越谷市環境大会	1
エコニュース	12
ECO勉強会	19
環境講演会エコソサート	24
Eco-クッキング	27
Ecoこしがや環境ファミリー宣言	31
ECOこしがや推進事業所設置	33
こしがや緑のオアシス2020プロジェクト	35
こしがやエコスポット	40
環境管理計画の策定への参加や普及啓発などの活動	46
その他の活動	48
資料編(設立宣言、会則・規程・変更、会員の推移)	53

創立からの活動をまとめた「環境市民会議の活動のあゆみ」の表紙と目次

2-4 その他の取組

市では SDGs 推進に向けて、エコウィークでの SDGs 展のパネル展示や各種団体等への国産材を使ったピンバッジの作成・配布を行っています。

○地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームへの加入

内閣府は平成 30 年 8 月に SDGs の国内実施を促進し、より一層の地方創生につなげることを目的に広範なステークホルダーとのパートナーシップを深める官民連携の場として、地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームを設置しました。

自治体と民間団体等のマッチング支援や、分科会開催、普及促進活動などを行います。

本市では平成 30 年 11 月に申込を行い加入しました。埼玉県内でも埼玉県の他、本市を含め 45 市町が加入しています。

○埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームへの加入

埼玉県は令和 2 年 9 月に SDGs (持続可能な開発目標) の達成に向け、多様な県民・事業者等の積極的な参画及び連携を推進することにより、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現すること目的とし、埼玉版 SDGs 推進のベースとなる官民連携の場として、「埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォーム」を立ち上げました。

SDGs に関連するシンポジウム・セミナー等イベントの開催、参加団体が実施する SDGs 関連イベントの広報・発信、参加団体の情報共有及び交流に資する事業、埼玉版 SDGs の推進に資する事業、特定分野に係る分科会の設置・検討などを行います。

参加対象者は県内に本社または事業所を有し、県内で SDGs の達成に資する活動を行う企業・団体等(県内関係企業・団体等、県内大学・研究機関、県内自治体、国関係機関等、個人は対象外)です。

本市も令和 2 年 9 月に申込を行い加入しました。現在は 1,000 を超える企業・団体等が加入しています。